バレンシア工科大学留学報告書

高知工科大学情報学群 3 年　植木 涼太

1　はじめに

私は 2023 年 1 月末から 7 月初めまでの約半年間、スペインのバレンシア工科大学（Universitat Politècnica de València: 以下 UPV) に科目履修留学をしました。バレンシアはマドリード、バルセロナに次ぐスペインの第 3 の都市であり、地中海に面した美しい街です。街中は Rio と呼ばれる昔河川だったものが公園として再建設されたものがあり、運動や読書などをしている人々をよく見かけました。

UPV は生徒数約 40,000 人、教職員 4,000 人でバレンシア、アルコイ、ガンディアの都市にある 3 つのキャンパスに分散しています。大学では 48 の学士号と修士号、81 の博士号を授与しているかなり大きな大学です。また留学生数は常に 1,000 人近くがヨーロッパだけでなく、アジア、南アフリカ、アメリカなど、世界中から研究や勉強をしに訪れています。私の所属していた情報学科は現地の学生が英語で開講される科目も取れることができたので英語を話すことができる学生が思っている以上に多かったです。

UPV のキャンパス風景

2　留学を志望した経緯

私は大学に入るまで英語を勉強するのが嫌いでした。入学して受けた TOEIC のスコアは 390 点程でした。しかし海外への文化に興味を持っていた私は International House(以下 I House) という

高知工科大学 (以下 KUT) に通う留学生が住む寮に日本人学生として住む機会が与えられたので住むことにしました。初めは話すことがもちろんできなく、またコロナが流行っていたこともあり留学生と会話する機会がほとんどありませんでした。2 年になり引き続き I House に住んでいた私だがスペインから 3 人の学生が来日しました。その学生たちとコミュニケーションをとる次第に自分の英語力も上がり、また、スペインに興味を持つ様になりスペインへの留学を決めたきっかけとなりました。留学が決まった際の TOEIC のスコアは 610 点程でした。

3　留学前準備

3.1　ビザ申請

私は留学前の 3ヶ月前からビザ取得に関する準備を始めました。ビザの取得には 1ヶ月ほどかかり、最終的に留学する 1ヶ月前に取得することができました。また、取得するにあたり申請する 1 度目とビザを受け取る 2 度ほど大使館のある東京に行かなければなりません。準備する期間の間通常通り大学に通わなければならなく且つ、大使館でのビザ取得期間が平日午前中などということもあり、タイミングが合わないことも多々あり忙しかった記憶があります。また、申請するのに東京に行って知ったのですが、大使館 HP に記載してある必要書類など新しいものに更新されていなく大使館についてから知らされるということもありました。ビザの取得には思った以上に時間がかかるので留学が決まったと同時に準備を始めた方が良いと感じました。

3.2　TOEIC 受験

前述にも記載している通り私の大学入学したての頃の TOEIC のスコアは 390 点ほどととても低いものでした。しかし、I House に住んでいたこともあり英語勉強へのモチベーションは保たれていました。私が思うに TOEIC のスコアが劇的に伸びた要因の 1 つは 1 年後期に履修した Advanced Business English for TOEIC です。この講義内での TOEIC に向けての対策や有効的な勉強方法を学び短期間でスコアを伸ばすことができました。1 度目のテストから約 1 年後のスコアは 610 点となりこのスコアが留学決定された際のスコアです。もちろん、自学でも人一倍自分の専攻である情報科目と英語両方を勉強したと自負していますが、この講義も英語力が伸びた一つの要因だと思っています。

3.3　別途留学前に勉強したこと

文法や単語などの英語力は 1 年の間に勉強しそれなりに理解できる様になりましたが、やはり話す機会がないのもありスピーキングとリスニングは致命的でした。しかし、2 年になりコロナ対策が緩和されたこともあり、英語で話す機会が多くなりました。私は I House 内では留学生と (特にスペイン人の友人) 学内では大学の外国語担当の先生と積極的に話しこれらの能力を上げました。また、わたしはアニメが好きなので YouTube で英語吹き替え版のアニメを用い、シャドーイングなどの練習をしました。留学前には私のそれらの能力は話す際に詰まってしまうことや発音は決して良いと言えないものでしたが、普段の会話を躊躇いなくできるほどになりました。

3.4　荷物

以下に持っていって良かったものと、持っていけば良かったものをまとめておきます。

持っていって良かったもの	持っていけば良かったもの
風邪薬や鎮痛剤	風邪薬や鎮痛剤をもっと多く持っていけば良かった
大量のタオル	帽子や扇子などの熱さ対策
ウルトラライトダウン	旅行用の大きめのバッグ
日本の化粧水や洗顔料	ジップロックや飛行機に持ち込める小型ボトル

4　スペインでの生活

4.1　気候

バレンシアは年間降水量がとても少ないことで知られており、私がバンレンシアに滞在した半年間 6 日ほどしか雨が降りませんでした。それも 1 時間ほど小雨が降って止むような日でした。留学初期の 2 月 3 月は少し寒く、ジャケットが必要でした。初めは必要ないと思い持っていなっかたのですが、渡航直前に買ったウルトラライトダウンがあって本当に良かったと感じています。4 月過ぎたあたりから半袖で過ごすことができました。6 月 7 月は猛暑で気温は 35 度近くあり乾燥していたので日陰にいると快適ですが、日向は日光が強く肌がヒリヒリする熱さです。

4.2　食生活

バレンシアにはカフェやレストランが至る所にあります。スペイン人はよくコーヒーを飲むらしく日本と違いエスプレッソが主流でした。特にバレンシアだけにみられる café del tiempo(直訳すると季節のコーヒー) というものはカップに入った熱いカフェオレなどと氷が入ったグラスが渡され自分自身でグラスにカフェオレを注ぐものです。コツを掴むまではよくこぼしてしまいました。また、スペインの国民性からでしょうか特にバレンシアの人たちはよく人と会話しています。バスの運転手と会話する人もいました。自分のアパートの前にあるカフェによく通っていたのですが、店員さんが英語を話すことができることもあり、よく話しかけてくれました。さらに日本語で”こんにちわ、ありがとう”などと話しかけてくれるほどでした。

また、日本と違いコーヒーを注文し席について長時間居座っても良かったので、そのカフェで勉強をしたり友人と話して過ごしていました。

café del tiempo

お気に入りのカフェ

スペインでの食事は、朝、朝と昼の間、昼、昼と夜の間、夜の 5 回ありました。また、昼食と夕食は基本的に遅く昼食は 2 時、夕食は 9 時過ぎごろでした。ですので、レストランなどは夜の 7 時に行っても空いていない所が多く多くのレストランの開始は 8 時ごろからでした。

また、日曜日にはスーパーを含めほとんどの店が休業しています。さらに 15 時から 16 時はシエスタと呼ばれる昼寝をする時間があります。その間は街中は閑散とし、一部の店は閉店しています。飲食店以外の会社では基本 5 時に終わり金曜日は 2 時と早めに終わることが主流だそうです。ワークライフバランスが取れた生活だと感じました。

4.3 金銭面

金銭面に関しては、ヨーロッパはほぼ全ての場所でクレジットカードが使えるので現金を持つことはほとんどありませんでした。自分は Revolut というアプリを用いオンラインバンクを開設し、日本から日本円を送ってもらいました。そのアプリでは上限額はあるものの日本円をユーロにその場のレートで帰ることができます。ユーロだけでなく他の通貨にも対応しているのでチェコへ旅行に行った際も活躍しました。また、ATM を使うことでユーロの現金化もすることができたのでおすすめです。以下今後留学を考えている人に向け留学にかかった費用を記載します。

費用項目	EUR	JPY	備考
授業料	0	0	交換留学のため KUT への授業料支払いのみ
家賃	1,500	225,000	5ヶ月分の家賃と光熱費
食費	1,200	180,000	月に 200 ユーロほど
携帯通信	60	9,000	現地で SIM を契約した、月 10 ユーロほど
通学費	0	0	26 歳以下だったので無料で路面電車やバスが使える券をもらうことができた
学用品	10	1,500	ノートやペンなど
生活用品	30	4,500	洗剤やトイレットペーパーなど、キッチン用品はフラットにあるものを使った
渡航費		300,000	往復, ウクライナ情勢のこともあり、かなり高くなっていた
保健費		94,000	大学の保険とスペインの保険会社 Sanitas を利用 (ビザ取得時に必要だった)
合計		814,000	

留学費用 ※ 旅費は除く

4.4 住居

また、UPV では学生寮はあるものの家賃が通常のアパートと比べとても高いものでした。なので、私はフラットと呼ばれるシェアハウスを借りました。家賃は水道電気通信込みで月 300 ユーロとバレンシア内のアパートと比べとても安く、立地もスーパーやバス停、駅などが近くセンター街へも徒歩 15 分で行くことのできる良い場所でした。治安はとても良かったです。私のフラットはフラットメートが 6 人おり、バスルーム、冷蔵庫は 2 つ、キッチン、洗濯機は 1 つあり、全て共同で使うものでした。また、個別にそれぞれ部屋があり、私の部屋はとても狭いものでしたが、不便に思うことはありませんでした。しかし入居時にトラブルがありました。アパートの契約などは日本からメールなどでオーナーとやり取りをしていたのですが、そこのオーナーは英語が話すことが

でき、かつ支払いはクレジットカードが使えると聞いていました。しかし実際はスペイン語しか話せずクレジットカードも使えないと入居時に判明しましたが幸い、スペイン人の友人がその場にいたことで問題なく入居することができましたが、これから留学を考えている方はその様なトラブルがある可能性があるので、事前に連絡をしっかりとった方が良いでしょう。

個室

キッチン

5　スペインの文化

5.1　食文化

スペインでは日本と同じ様にお米を食べる文化があります。その最たる理由は Paella(パエリア) の存在があるからでしょうか。バレンシアはパエリア発祥の地とされ、日本でパエリアと聞くとシーフードを使ったパエリアを想像されるでしょうが、バレンシアではウサギの肉やピーマンを使ったパエリアとなります。パエリアを作る際、特別なパエリアを作るためのフライパンを使うのですが、各家庭に家族用の小さめのものと、ゲストを呼んだ際に使う直径 80cm にもなるものが常備されているそうです。

また、スペイン発祥のお酒である Sangria(サングリア) もとても美味でした。サングリアは赤ワインにフルーツやレモンジュースと大量の砂糖を加えたお酒です。基本的にどこのレストランでも頼むことができ、休日では昼からそれらを飲むことが多々ありました。お店によってもアルコールの強さが味が全く違うのも面白い特徴でした。

前述でも記載した様にバレンシア内には多くのカフェがある様にスペイン人はコーヒーをよく飲みます。カフェなどでは安価な値段でコーヒーを頼むことができまた、家庭にはイタリア発祥のモカエキスプレスというエスプレッソの様な強いコーヒーを作る道具が 1 つ必ずあります。また、ユニークなコーヒーも存在します。エスプレッソとウィスキーやブランデーといったお酒を混ぜた Carajillo(カラヒージョ)、エスプレッソと練乳を混ぜた cafe bombon などあります。

Carajillo

Paella

Sangria

5.2 Fallas(ファジャス)

[1] では
”スペインバレンシア地方の火祭り（ファジャス）は、大工の守護聖人サン・ホセを称えることを起源とし、バレンシアを中心とした周辺の都市において、3 月 15 日から 3 月 19 日に開催される伝統あるお祭りです。”
と説明があります。この期間の間 UPV は休み期間となり私は Fallas を楽しむことができました。Fallas の間人々は街中で爆竹をならし、各区間でパーティーなど開催されています。また各区域ごとに大人たちが作った大きな Fallas と呼ばれる人形と子供たち用の小さめな Fallas が展示されています。Fallas の最終日、優秀賞をとった Fallas 以外火で燃やされ祭りは終わりとなります。歴代の優秀賞をとった Fallas はバレンシアの博物館で見ることができます。

Fallas

6 学校生活

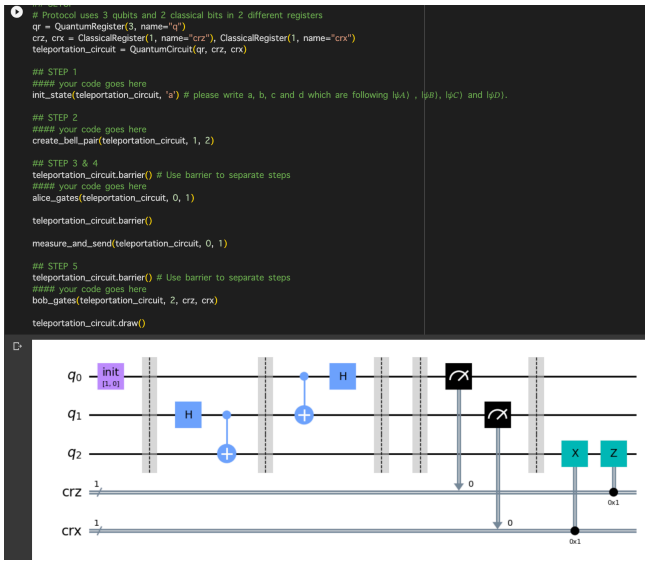
6.1 授業

授業は多くの科目で英語で授業が進むグループがあり、留学生はもちろん、スペイン人学生も取れるようになっている。授業は基本的に週 2 回の座学と専門科目では週 1 回で Lab という KUT でいう実験があります。また、授業は 1 回 90 分、30 分の休憩が各講義ごとにありました。昼休憩はなく連続で講義がある日は 30 分の休憩の間に軽食を取りました。また、大学の講義は 8 時から始まるのでそのような科目がある日は朝がとても早く、電車などが混雑してることもあり、時間通りに来る学生は少なかったです。講義によって成績付けはバラバラで基本的にテストはあるのですが、レポートのみだったり授業内の小テストが加点対象だったりと KUT と同じだと感じました。

6.1.1 Quantum Computer

この科目は週 2 回の座学と 1 回の Lab で構成されていました。この科目の座学は 2 講義分連続で前クウォーターと後クウォーターで教授が変わりました。Lab では Python を用いて量子コン

ピュータをシミュレーションするためのコードを書きました。座学では前期は量子物理月の基本的な用語の意味と方程式などの説明、後半は量子コンピュータの基本的なアルゴリズム中心でした。



量子テレポーテーションのためのコードと回路

6.1.2 Statistics

この科目も上と同様週 2 回の座学と 1 回の Lab で構成されていました。座学では統計学の説明や確立の説明、Lab では実際のデータを用い Statgraphics というアプリを使いデータを検証しレポートにまとめたものが成績評価されました。

- $m = 15 + 3 = 18$
  $s = \sqrt{4^2 + 3^2}$
- It is almost impossible to obtain exactly same number as what we could be expected. Because I used 100 random variable due to sampling of two normal distribution. So it's not enough to obtain good value. And also, the random variable may include anomalous value. But if the size is increased, it can be same value. But its probability is very very low. So we can't obtain theoretical parameters.

Count	100
Average	18,3178
Standard deviation	5,08981
Coeff. of variation	27,7861%
Minimum	3,95728
Maximum	31,6809
Range	27,7237
Stnd. skewness	-0,455612
Stnd. kurtosis	1,03541

Figure 31: Summery for N(15, 4) + N(3, 3)

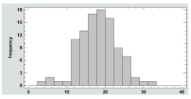


Figure 32: The histogram of N(15, 4) + N(3, 3)

レポートの一部

6.1.3 Spanish Language A1 for Asian students

この科目は言語でしたので週 2 回の座学のみで Lab はありませんでした。この講義は基本的にアジアから来た学生のみでスペイン語を全く知らない学生がほとんどでした。少人数ということも

あり学生間でとても仲が良かったと感じます。講義の最終日ではそれぞれ自分たちの故郷をスペイン語でプレゼンテーションするものでした。

学生と教授

6.2　学内環境及びイベント

学内は各学群毎に専門書が揃えられている図書館とセンター図書館と呼ばれる大きな図書館があり誰でも 22 時まで利用できました。テスト週間になると全ての講義が休みになるのですが図書館は勉強する学生で溢れていました。講義が午前で終わった日や空きコマがある日には私も図書館で自習や Lab の課題をして過ごしました。また、学食も学群毎にいくつかあり、安価なものが多かったです。スポーツなども盛んで、多くのコートが完備されておりました。
学生団体の ESN という団体に加盟するとカードがもらえそのカードを使えば割引や様々なイベントに参加することができました。そのイベント内で様々な留学生を知ることができました。

7　長期休み

滞在中長期休みが Fallas の期間の 1 週間の長期休みとイースターでの 2 週間ほどの長期休みがありました。また、私の場合試験がなかったことにより 5 月末で大学の講義がすべて終了し 6 月が丸々1 か月休みとなりました。長期休暇中 RYANAIR という格安航空でチェコ、イタリアなど旅行しました。私はこの航空会社を使い 100 ユーロほどでバレンシアからチェコに行くことができました。チェコへの旅行はチェコの友人の家に泊まったので費用はほとんどかかりませんでした。これらは用いるとヨーロッパに住んでいると低予算でヨーロッパ内を旅行できるのでお勧めです。

8　留学を終えて

留学を終えて半年前の自分と比較すると自分でも気づけるぐらいに成長したことです。スペイン人の国民性に触れ、留学前と比べ自信を持てるようになりました。もちろん留学は楽しいことだけ

でなく大変で苦しいこともありました。また、思ったようにいかなく嫌になることもありました。しかし今振り返ってみると自分のやり遂げたことに誇りに思います。これらの経験は行動を起こすのに尻込みしていた自分を変えてくれました。また、この留学で出会った友人、日本で会ってスペインで多く助けてくれた友人やチェコの友人は今でも連絡を取る大切な友人です。

最後に、この留学を支えてくださって国際交流課の方々、授業やテストの日程などを調整してくださった先生方、留学の際に相談を乗ってくださった先生方、留学に携わった皆様、そしてどんな時でもそばで支えてくれた私の家族と大切な友人に心から感謝しこの留学報告書を終わります。

参考文献

[1] euro lingual, ”バレンシアの火祭り-ファジャス - (Fallas de Valencia)”, https://www.euro-lingual.com/fallas-de-valencia/ (2023/7/26).